

Rainbow

～六中ユニバーサルデザイン～

All for 六中 ※このお便りは全校向けお便りです。



令和6年5月31日

調布市立第六中学校

校内通級教室

No. 1

新学期が始まり、早くも2か月が経とうとしています。

校内通級教室では、今年度も学校全体のインクルーシブ教育の構築に向けて取り組み、この「Rainbow」で様々な情報をお伝えしていきます。今月は、特別支援についてのお話をお伝えします。裏面には、昨年度お伝えしてきた内容を紹介します。

特別支援教育について

調布市では、「子ども1人1人を大切にせる教育の実現」を目指し、共生社会の実現に向けインクルーシブ教育を推進しています。第2期調布市特別支援推進計画の基本理念をお伝えします。

理念 どの子どもも十分な教育を受けることができ、共に学び、共に生きる社会を目指し、すべての学校、すべての学級で特別支援教育を推進します

基本方針1 すべての学校で子どものために一丸となって教育活動を進めます

基本方針2 すべての教員がどの子もわかる教え方を身に付けて、子どもが学ぶ力を引き出します

基本方針3 多くの人が関わってすべての子どもたちのために協力します

基本方針4 どの子も安全で安心して学ぶことのできる学校にします

六中では調布市の推進計画を踏まえ、1人1人の個性を尊重し、多様性を認め合い、きめ細やかな支援を行うインクルーシブ教育を推進していきます。

また、困っている人を見かけた時には、誰にでも声をかけたり、助けたりすることのできる温かい人間関係を築いていける生徒の育成を目指していきます。

六中、男女別・背の順をやめました

今年度より、朝礼等で整列する際に、男女別・背の順で並ぶことはやめました。（体育の授業等で必要がある時以外）

どの生徒にもわかりやすくするためと、性別や見た目で人を線引きしなくてすむように、出席番号での整列を基本とします。

昨年度の特集より



〈第1号〉・ADHDについて

・診断基準と支援方法について

〈第2号〉・定期考査におけるユニバーサルデザイン化について

・整理整頓について

〈第3号〉・定期考査におけるユニバーサルデザイン化に向けた生徒の声

・実際の解答の様子・時間管理アプリ紹介

〈第4号〉・起立性調節障害

・ルビについて ・ルビ財団の取り組みについて

〈第5号〉・自閉スペクトラム症について

・過去の支援例

〈第6号〉・個別の教育支援計画について

・誰一人取り残さない多様な高等学校教育 シンポジウムの概要
さまざまなタイプの都立高等学校の紹介



お子様のことでご心配なことがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

第六中学校 校内通級教室

主任（特別支援教育コーディネーター）^{おもと}尾本 保明

□□□□

□□□□

□□□□

□□□□

□□□□

□□□□